

<麦類の栽培ポイント>

1 莖立期直前の麦踏み

気象庁の3か月予報(2025年1月21日発表)によると、3月の平均気温は「高い」確率50%、降水量は「少ない」確率40%という予報が出されています。気温が高い予報のため、生育が早まる可能性があります。ほ場で麦の生育を確認して、莖立期直前の麦踏みを行いましょう。莖立期直前の麦踏みは、穂揃いを良くし、成熟ムラのない倒伏に強い麦にする効果があります。

2 湿害対策

莖立期以降の湿害は、収量や品質の低下を招きます。降雨に備えて明渠の設置・溝さらいなどの排水対策をしっかりと行いましょう。

3 雑草防除

雑草は収穫作業の支障になるだけでなく、種子が収穫物に混入すると品質低下の原因にもなります。雑草が発生しているほ場では、莖立期までに防除を実施しましょう。雑草の生育が進んでいると、除草剤の効果が劣る場合があります。適切な時期に使用できるよう、ほ場をよく観察しましょう。

【防除農薬の例】

令和7年2月7日現在登録状況

農薬名	適用雑草名	作物名	使用時期	使用方法	使用回数
ハーモニーDF	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	小麦	一年生広葉雑草:は種後～節間伸長前 節間伸長開始期～穂ばらみ期 但し、収穫45日前まで スズメノテッポウ:は種後～節間伸長前	全面散布 雑草茎葉散布 又は	1回
		大麦	は種後～節間伸長前		
エコパートフロアブル	一年生広葉雑草	小麦	小麦節間伸長開始期まで(広葉雑草2～4葉期、ヤエムグラ2～6節期) 但し、収穫45日前まで		2回 以内
		大麦	大麦節間伸長開始期まで(広葉雑草2～4葉期) 但し、収穫45日前まで		
バサグラン液剤	一年生雑草 (イネ科を除く)	小麦	生育期 但し収穫45日前まで		
		大麦	生育期 但し収穫90日前まで		

※農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

4 赤かび病防除

赤かび病が発生すると出荷できなくなるので、必ず薬剤散布を行いましょう。

【防除農薬の例】

令和7年2月7日現在登録状況

農薬名	小麦		二条大麦	
	使用時期	使用回数	使用時期	使用回数
ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	収穫14日前まで	2回以内
トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降2回以内)	収穫30日前まで	3回以内 (出穂期以降1回以内)
トリフミン水和剤	収穫14日前まで	3回以内	収穫14日前まで	3回以内

※農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

【赤かび病防除のポイント】

二条大麦 (ニューサチホゴールド、もち絹香)	防除適期:穂揃期7～10日後(蒴殻抽出期) ポイント:不稔粒発生や登熟期間中に雨が nhiều 場合は、1回目散布の7～10日後を目安に2回目の散布をしましょう。
小麦	防除適期:1回目・開花始め(おおむね出穂7日後)、2回目・1回目の20日後 ポイント:登熟期間中に雨が nhiều 場合は、3回目の散布を行いましょう。

「麦類無人ヘリ防除」・「麦類赤かび病防除薬剤」の取りまとめが行われますので、ご利用よろしくお願致します。

(裏面あり)

イネカメムシの防除を徹底しましょう！

↑成虫



↑幼虫

イネカメムシの発生が近年拡大しています。令和6年は県南地域で、水稻に甚大な被害がでました。

イネカメムシは、出穂期に加害すると稲が**不稔**になります。また、乳熟期に加害すると**基部斑点米**で**品質低下**します。

出穂期 ▶ **不稔で
収量低下**



乳熟期 ▶ **基部斑点米で
品質低下**



出穂期の防除を
プラス！

従来の斑点米カメムシ類の防除に加え、イネカメムシによる不稔を防止するためには、出穂期の薬剤防除が必要です。防除時期・回数の見直しを行いましょう。

発生予察情報による
適期防除

被害が発生していない地域でも、イネカメムシが発生している可能性があります。県の予察情報を注視して防除に生かしましょう。

イネカメムシの防除体系

生育ステージを確認して適期に防除を実施しましょう！

		出穂期	穂揃期	乳熟初期	乳熟後期		
越冬世代成虫							
第1世代幼虫							
		不稔 予防 薬剤散布 1回目	← 1週間後 →	斑点米 予防 薬剤散布 2回目	← 1週間後 →	斑点米 予防 薬剤散布 3回目	
<ul style="list-style-type: none"> ●不稔防止(出穂期)、斑点米防止(出穂1週間後)の2回 ※発生が多い場合には3回 ●液剤で防除 ●MEP(スミチオン)、エトフェンプロックス(トレボン)、ジノテフラン(スタークル)等の効果が高い ●水稻収穫後、速やかに秋耕の実施 							生息場所 除去 収穫後 秋耕